

まちづくりの地域情報紙

e-NET 6500
EIGENJI



あかねさす 紫野行き標野行き

野守は見ずや 君が袖振る

額田王（ぬかたのおおきみ）

万葉集に詠まれた花 ムラサキ
大河ドラマ『光る君へ』の紀行で紹介

（関連記事 2 ページ）

情報紙 第117号 2024年 11月 1日

編集・発行：永源寺地区まちづくり協議会 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内
IP：050-5802-9336 <http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/> E-mail：e-net6500@e-omi.ne.jp

まちの話題



木地師のふるさと、蛭谷を訪ねる 地域の歴史再発見講座



10月5日、地域の歴史再発見講座で木地師のふるさと蛭谷町を訪れました。

この日はまず、木地師資料館で小椋重則自治会長から木地師の歴史や資料館で展示されている手挽き轆轤（ろくろ）や椀、氏子駟帳の説明を受けました。展示作品のなかには、人間国宝の川北良造氏による作品も展示されていました。

その後、木地師資料館から木地師やまの子の家を経て惟喬親王御陵までを散策。標高差が130mもある坂道でしたが、爽やかな風の吹く絶好のウォーキング日和で、参加者は市歴史文化振興課の嶋田直人さんの説明を聞き、蛭谷町の魅力を存分に感じながら永源寺地域の良さを再発見されていました。

「地域や人とのつながりが大切」 ふれあい講座で花戸先生語る



永源寺地区人権のまちづくり協議会主催の第3回ふれあい講座が9月27日、永源寺コミュニティセンターで開かれました。

今回の講師である永源寺診療所の花戸貴司所長は、今後ますます増えてくる高齢者のひとり暮らしと社会的孤立の課題をあげ、地域や人とのつながりの大切さを話されました。また、認知症や末期のがん患者さんと向き合ってきた体験を通して、誰もがひとりの人間として尊重され、最後まで自分らしく生きることが大切である。そのためには、医療や介護の充実と併せて、住んでいると自然と健康になれる「安心して暮らし続けられる地域づくり」が重要であると語られました。

永源寺リトルスターズ 少年野球西日本大会に出場



8月17、18日に開催された第20回広島県三原市長旗軟式少年野球西日本大会に永源寺リトルスターズが出場されました。当大会には滋賀県から3チームが出場され、永源寺リトルスターズはAブロックにおいて初戦を見事に突破し、準決勝では優勝した沖縄県のチームに惜しくも敗れましたが、大きな舞台で貴重な経験ができたとのことでした。

また、試合前日には岡山県倉敷市のマスカットスタジアムの施設見学を行い、プロ野球の試合も開催される球場で、晴天の下、試合をイメージしながら綺麗な芝生を走り回り、いい夏の思い出を作られたようです。今後のさらなる活躍を期待します。

大河ドラマの紀行で 市の花ムラサキが紹介されました



9月29日に放送されたNHK大河ドラマ『光る君へ』の後に放映されるゆかりの地の紹介（紀行/第37回）で、永源寺高野町の「おいでえな高野」で育てている市の花ムラサキが紹介されました。

撮影は夏の暑い日に畑で行われ、一面に白い花を咲かせるムラサキや、当時の人が着ていた高貴な紫色の着物の染め方などを半日かかりで収録されました。

番組では、「ムラサキは絶滅危惧種に指定されており、一般的に自生しているものを見かけることが難しい希少な花。6月から8月にかけて白く可憐な花が咲きます」と紹介されていました。

永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『令和6年度春季特別展 稀品・逸品 滋賀県出土の指定文化財を中心に』 滋賀県立安土城考古博物館

滋賀県のみならず国の歴史を考える上でも重要な旧石器時代から近世初頭までの出土品を展示した特別展の図録。表紙の一部に掲載されているのは、永源寺の相谷熊原遺跡から出土した「縄文のビーナス」です。同じ遺跡から出土した石器の石材には、周辺で採れる素材のほかに、下呂石など遠隔地から運ばれて来たものもみられるそう。遥か昔から、この地で人々の交流する豊かな暮らしが営まれていたことがわかります。

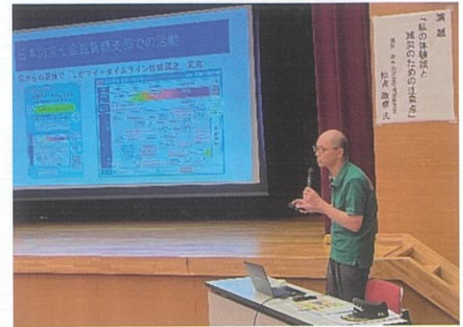


『「教行信証」からひもとく浄土真宗の教え』 藤澤信照著／法藏館

親鸞聖人が編集した「教行信証」に基づき浄土真宗の教えについて書かれた本です。著者は甲津畑にある浄光寺住職の藤澤信照さん。口述で行われた「教行信証」の解説講義「真宗要論」の講義録ノートをもとに、雑誌に連載をされた記事を本にまとめられました。講義が行われたその日のうちに清書し、一年の講義を終了した時にできたというそのノートは、その後テキストとなり、自身も後進の指導にあたられています。



防災士から減災の注意点学ぶ コミュニティ防災講座



10月6日、永源寺コミュニティセンターで、今年で4回目となるコミュニティ防災講座が開催されました。

講師の防災士松吉政彦さんは、自分自身ができることは何か、家族でできることは何か、地域でできることは何かなど、減災のための注意点について詳しく話されました。また、市防災危機管理課の馬見夏野子さんから、地域の危険性を知り災害に備えること、安否確認の重要性や避難所生活についての説明がありました。

講演のあとホールでは、簡易ベッドと防災テントの搬入から組み立て、撤収までの作業を実施。また、ポーチには八日市消防署の協力によりモクモクハウスが設置され、参加者は煙の怖さを体験されました。

参加された方からは、「いろいろな体験ができて良かった」「改めて防災を考える機会になった」などの感想を述べられています。



(有) 岡本こんにゃく本舗



手造りこんにゃくの店
畑で育てたこんにゃく芋から造る本物の味
永源寺石物 岡本の手造りこんにゃく製造販売所

東近江市永源寺高野町 328

Tel 0748-27-0129

Fax 0748-27-2027

営業時間 9:00 ~ 17:00

気軽にスポーツを楽しんでいただこうと、9月22日、永源寺運動公園グラウンドと体育館で、永源寺スポーツフェスタが行われました。

時折小雨が降るあいにくの天候でしたが、モルックやディスクン、ネットでポンポイなどのニュースポーツや、ジャンボシャボン玉、AEDなどを親子で楽しく体験されていました。

永源寺 スポーツ フェスタ



モルック



スカットボール



ジャンボシャボン玉



ディスクン



AED体験



スクエアステップ



ディスクゲッター9



ネットでポンポイ

編・集・後・記

「わが街にコストコがやってくる」そんなニュースが飛び込んできたのは約3年ほど前だろうか。当時は近隣の店舗へ行くか、オンラインでの買い物をしてきた。近隣の店舗とはいえ県外のため、ちょっとした日帰り旅の気分では出かけていたものがまさかわが街にくるとは夢にも思わなかった。市長の話だと、8年ほど前から誘致をしていたとのこと。それもまた驚きの話である。造成工事ののち、建築工事が始まり、現場がどんどん進んでいくにつれ、いよいよかと現実味を帯びてくると、ワクワク感がどんどん増していった。そして、いざオープン当日。定刻より3時間前倒しの午前5時オープン。先頭には3日前から並んでいたという県外の方もおられたとか。多分にもれず私も3日目の夕方に足を運んだものの、駐車場が満車のため断念したがオープン5日目に再度行ってみた。駐車場へはすんなり入れたものの、店舗内へ入ってみると夏休み終盤ということもあり、大勢の家連れであふれかえっていた。ゆっくり見ようと思ったが、あまりの人の多さに圧倒されお目当ての商品のみ購入しただけで買い物を終えた。店内では定番の試食コーナーが、オープン直後ということもあってか他店よりも充実している。店内の至るところに行列ができていた。東近江倉庫店限定の商品もあるとのことだが、まだ見つけれず。次回ゆっくり見て回ろうかと思っている。コストコができたことよって、県内外から多くの方が東近江市に来られるということで、交通渋滞など地元住民の方はいろいろと危惧されることもあるかとは思いますが、これをきっかけに地域の活性化につながればうれしく思う、今日この頃である。